

自然と人が交わる地域



令和5年1月1日時点



正現の棚田

地区概要

出水市の北東に位置し、北は熊本県水俣市、東は伊佐市と隣接している山間部である。地区の大半が森林であり、米ノ津川上流、高川ダムを有している。15自治会で構成され、自治会への加入率は89.2%となっている。

コミプラ設立の経緯

15自治会の代表が月に1回集まる定例会で地域活性化についての話し合いを行い、将来の

各自治会の地域活性を考えていく中で、自治会の合併を考えたが、断念した。しかし、里山再活性化プロジェクトや地域づくり研修会を通して、住民たちが地域を改めて見直す機会が増えたことで、自治会と多様な主体が連携したコミュニティ協議会の設立案が挙がった。住民一体となって準備委員会が協議を重ね、H29年に大川内地区コミュニティ協議会を設立した。

特徴的な活動

①自然の恵みを活かした活動

毎月第4火曜日に「茶いっぺ市場」が開催され、住民たちが持ち寄ったお米、タケノコや春キャベツ、大根などの季節の野菜、絵菜、工芸品や豚みそなどの地区の特産品の販売を実施している。

中でも、ブランド米として認知されている「大川内の清流棚田米」は、生産から販売まで地区が行い、ふるさと納税の返礼品にもなっている。また、「正現地区棚田保全会」を中心に環境保全活動、田んぼや川の生き物調査や、地区の子どもたちが種まきから精米までを体験する農業体験学習を実施している。収穫されたお米は、秋の「大川内ふるさと収穫祭」にて他の商品と共に販売されている。

これらの取り組みは、幅広い年代の地域住民の交流の場になると同時に収益を上げている。



大川内ふるさと収穫祭

②「つながる場」で生きがいや楽しみを創出

登録している人が定期的集まるサロン活動を行っている。主な活動は、ドライブサロン（買い物バス）、サロン会（手芸・工作）、体操教室である。この活動は高齢者元気度アップ・ポイント事業の一環としても登録しているため、65歳以上の登録者は活動に参加するとポイントが付与される。

ドライブサロンは、車を持っていない高齢者のために、市内の社会福祉法人の協力により、車や添乗員を確保して市街地のスーパーへの買い物を支援している。

サロン会では、簡単な手芸や工作などを行っている。体操教室では、繋がりがある米ノ津東地区コミュニティ協議会健康福祉部の体操を取り入れ、筋力の向上を意識した体操を続けている。

これらの活動や活動後の交流が地域住民の楽しみ・生きがいに繋がっている。



サロン会（工作教室）

今後の展望（コミプラの声）

空き家対策を積極的に進めており、空き家バンクを活用しての移住促進に取り組んでいる最中である。短期移住体験としての空き家活用も検討中であり、旅行業法等の法的手続きをどうクリアするかを考えながら、構想を固めている。

出水市から一言

高齢化が進んでいる現状ではありますが、地域全体が自主的・積極的に行動しているという点が魅力的であり、活動が収益に繋がっている点も強みであると感じています。

人と話す機会を作り出すことにより交流が生まれており、このような場を作ってくださいることがありがたいです。交流の場を作るという点を他の地区にもおすすめしたいと考えています。

利用した補助金など

- ・地方創生推進交付金（内閣府）（H29～30年度）
- ・地域振興推進事業（県）（R元年度）
- ・出水市地区コミュニティ協議会育成支援事業補助金（市）
- ・里山活性化事業補助金（市）（H29～30年度）
- ・コミュニティ助成事業（一般財団法人自治総合センター）（R2年度）



おいでよ！大川内
Izumi Kagoshima
(Facebook)



大川内地区
コミュニティ協議会

Passion

自然や人とつながる
交流の場をつくるべし！